

ぶどう、ワイン及びぶどうジュース中のメピコートクロリド

メピコートクロリドは、ドイツの BASF 社によって開発された植物成長調整剤です。ぶどうの巨峰・安芸クイーン・ノースレッドに使用した場合は、花振るいを防ぎ、着粒数・有核果数を増加させます。増収につながるるとともに、商品価値の高い房作りを可能にします。また、ピオーネ・巨峰・デラウェアに使用した場合は、新梢伸長を抑制し、品質を安定させます。



性状は、酸性・アルカリ性・熱・光に安定であることからぶどうをはじめその加工品への残留が危惧されます。

今回 LC/MS/MS による分析法を開発し福岡市内を流通する市販のぶどう、白ワイン、赤ワイン及びぶどうジュースについてメピコートクロリドの残留実態を調査しました。

結果を表に示します。ぶどう 14 検体のうち 5 検体 ( 0.013 ~ 0.20ppm )、白ワイン 14 検体のうち 3 検体 ( 0.006 ~ 0.048ppm )、赤ワイン 36 検体のうち 1 検体 ( 0.024ppm ) からメピコートクロリドが検出されました。検出されたぶどうの品種は巨峰で、ワインは巨峰およびデラウェアを原料としたものでした。

メピコートクロリドは作物中の残留基準値が現在は設定されていません。今後、ぶどうについて 2ppm の残留基準値が設定される予定です。今回検出された値はその残留基準値以下でした。

試料	検体数	検出数	検出範囲 (ppm)
ぶどう 国産	14	5	0.013 ~ 0.20
白ワイン 国産	5	3	0.006 ~ 0.048
白ワイン 輸入	9	0	< 0.001
赤ワイン 国産	5	1	0.024
赤ワイン 輸入	31	0	< 0.001
ジュース 国産	10	0	< 0.001
ジュース 輸入	1	0	< 0.001



植物成長調整剤とは

作物の生活環に現れる発芽、初根、伸長、花芽の分化、開花、結実の促進または抑制、落葉の促進などの作用を有する薬剤です。